

2007,3,29 ~ 3,30

## 第 26 回 北海道中学校バスケットボール 学年別大会 石狩 2 年女子 結果報告 『 第 5 位 』

「感謝の気持ちを込めて」 千歳中学校 星 卓志

選抜チームのコーチを務め、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。前回ヘッドコーチとして優勝させていただいてから 9 年ぶりの登板。再び優勝を目指しましたが、初日に札幌戦を落とし 5 位という結果に終わりました。優勝を逃してしまい残念ですが、翌日 2 勝して 3 勝 1 敗の成績で締めくくることができました。このような機会を与えていただいた専門委員会の皆様に感謝申し上げます。

これまで支えていただいた石狩の全コーチの皆さん、ありがとうございました。お手伝いいただいた高橋紀子先生、宍戸先生、水野先生、三浦先生、金内先生には、会場確保や選手選考などご尽力いただき、ありがとうございました。

さらに、スタッフとして一緒に戦っていただいた折田先生、福本先生、鈴木先生は、休日をすべて返上して関わっていただき、感謝の気持ちは言葉に言い尽くせません。

そして、何よりも選手に感謝です。練習を進める中で多くの可能性に気づかされました。私の仕事は、選手をどう調和させるか、良さをどう引き出すかということであったと思います。堅守速攻のチームづくりを通して、15 名に残った選手や補欠帯同してくれた選手全員が期待に応えてくれ、がんばる石狩のバスケットができたことはうれしい限りです。機会があれば、またみんなとバスケットをしたいと思っています。

最後になりましたが、保護者の方々には日々の活動を温かく支えていただくとともに、食事会まで招待していただき、ありがとうございました。お互いにバスケットで見る顔とは違った一面を垣間見ることができ、よい思い出をいただきました。

この活動で関わっていただいたすべての人に感謝です。

### 半年間の選抜チーム作りを通して感じた 『 石狩の課題 』

①強い意志

②強い脚

石狩の強化を考えると、以下 2 点をコーチみんなで課題としてみたい。

- ① 意 志 競争は強力な動機付けとなる。  
「選抜チームに残って選抜代表として戦いたい！」

上記の意識が希薄で、ただ勉強しにきたという選手が非常に多い。学ぶことも確かに多いが、自分がやってやるという強い生活力や人間力を育てたい。時代の流れだと言えばそうなのかもしれないが、それで流してよいものかどうか。ぎらぎらした気迫ある目をもった選手を育てるため、選手とともに、コーチも意識しなければならない。

- ② 脚 小さい選手はもとより、大きい選手にも必要な脚。  
ボールコントロールの技術よりも脚力が欲しいと感じることが多かった。  
厳しい練習を乗り越えるときに身に付いてくるものが脚力であるならば、それを支えるコーチの努力と育てるという意識が必要不可欠。